

# 邪馬台国に卑弥呼は居なかった

～ 日本古代史の扉 ～

biac

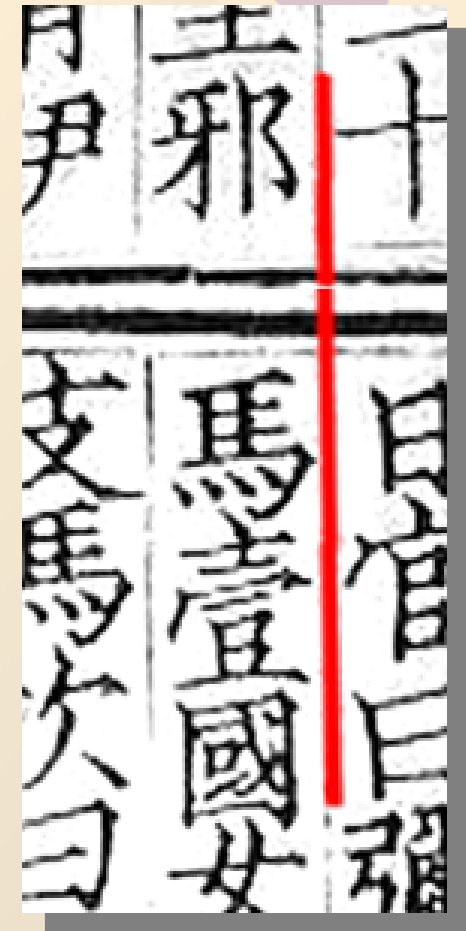
わんくま同盟 名古屋勉強会#06

2009/02/07



# 邪馬壹国の卑弥呼

- 卑弥呼の記述があるのは  
三国志 (3世紀)
- 三国志に出てくるのは  
邪馬壹国 (壹 = 壺)
- 邪馬臺国は後漢書 (5世紀)  
(臺 = 台)



魏志倭人伝 (紹熙本) (宮内庁書陵部所蔵) より

# 倭の中心地名の変遷

- 中国史書での呼び名は、時代につれて変化

1世紀	倭奴国	後漢書 (5世紀)
3世紀	邪馬壹国	三国志 (3世紀) 倭人伝
5世紀	邪馬台国	後漢書 - 地の文
7世紀	邪靡堆	隋書 (7世紀) 倭国伝
7世紀	邪摩惟	後漢書 - 唐の李賢の注

※ 「靡」は「一世を風靡する」の「ピ」(呉音は「ミ」)。「倭」の読みは「タイ」

— 邪馬台 = ヤマタイ ≡ ヤマト？

でも、臺はタイ/ダイであってトとは読めないらしい

# 邪馬壹国の場所

- 行程が詳しいのも三国志

- 総行程：1万 2千余里

帯方郡 → 邪馬壹国

- 狗邪韓国まで 7千余里

- 倭地を巡る 5千余里

- 帯方郡はソウル付近、狗邪韓国はプサン付近。

対馬・壱岐の経由も、ほぼ異論無し。



# 古代史は面白い

- 論証抜きで、「昔からそうなってるから（定説だから）」が、いまだにまかり通ってる世界。
- 史料に基づいてきちんと論証されると、教科書の内容はズタボロに。じつに痛快！
- 物理化学は高等数学が必要だけど、歴史は論理的な思考さえできれば OK！

# 《資料》 魏志倭人伝の行路記事

- **從郡至倭**  
帶方郡から倭に行き着くには… {
- **循海岸水行 歴韓國 乍南乍東 到其北岸狗邪韓國 七千餘里**  
海岸に沿って水上を歩き、韓国を歴訪するのに南へ東へとジグザグに進み、倭国の北岸である狗邪韓國に到着する。七千里強(7000)。
- **始度一海 千餘里 至對海國 (中略) 所居 絶島 方可四百餘里**  
初めてひとつ海を渡る。千里強(8000)。對海国に到着する。(中略)住んでいるところは、孤島である。四百里強 四方(8800)くらい。
- **又南 渡一海 千餘里 名曰瀚海 至一大國 (中略) 方可三百里**  
また南、ひとつ海を渡る。千里強(9800)。(この海の名は瀚海という。一大国に到着する。(中略) 三百里弱 四方(10400)くらい。
- **又渡一海 千餘里 至末盧國**  
またひとつ海を渡る。千里強(11400)。末盧国に到着する。
- **東南陸行 五百里 到伊都國 東南 至奴國 百里**  
東南に陸を行く。五百里弱(11900)。伊都国に到着する。[ 東南は奴国に至る。 百里弱。]
- **東行 至不彌國 百里 南 至投馬國 水行二十日**  
東に行く。不彌国に到着する。百里弱(12000)。[ 南は投馬国に至る。水行二十日の行程。]
- **南 至邪馬壹國 女王之所都 水行十日 陸行一月**  
南は邪馬壹國、女王の都するところに至る。} 水行十日・陸行一月の行程。 ※「南行 至邪馬壹國」などとなっていないことに注意。
- **自郡 至女王國 萬二千餘里**  
帶方郡から女王国に行き着くには、一万二千里強。
- **問倭地 絶在海中洲島之上 或絶 或連 周旋可五千餘里**  
倭地を訪問すると、海中の島の上に隔絶してある。あるいは隔絶し、あるいはつながっている。ひとめぐり五千里強である。

※ 本文中、「下線付」で示した部分は、実際の移動を表している動詞。「**太字**」は地名。



# 《資料》後漢書 倭伝 (抜粋)

- 倭在韓東南大海中 依山島為居 凡百餘國 自武帝滅朝鮮 使驛通於漢者三十許國 國皆稱王 世世傳統 其大倭王居邪馬臺國

[現在 (=5世紀) の知識] 倭は、韓の東南、大海の中にあり。山島に依りそって住んでいる。およそ百余国。武帝が朝鮮を滅ぼして (BC2世紀末) 以来、使者を漢に通わせるのは三十国ほど。国はみな王を称し代々の統を伝えている。その大倭王は邪馬台国に住んでいる。

※ 「現在」の知識としては、邪馬台国に大倭王 (女王ではない) が居る。

- 建武中元二年 倭奴國奉貢朝賀

建武中元二年 (AD57)、倭奴国が貢物を持って朝廷に挨拶に来た…

※ 昔から「現在」まで、倭国の代表がずっと「邪馬台国」ではなかったことが分かる。

- 桓靈閒 倭國大亂 更相攻伐 歷年無主 有一女子名曰卑彌呼

桓帝と靈帝の間 (AD2世紀中頃～末頃)、倭国は大いに乱れ、さらにお互いに攻伐すること何年にも渡り、主が無かった。一女子あって、名を卑弥呼と…

※ 卑弥呼の時代については「倭国」とだけ記していて、「邪馬台国」とは書いていない。倭国を代表する国 (卑弥呼の国) の名称は、後漢書からは不明。